

科目区分	専門分野			科目番号	0606	曜日時間	不定期
授業科目	基礎看護技術Ⅲ						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	1年次通年	授業形態	講義・演習
担当教員	岡原 幸代 ・ 上原 由加里						
授業目的	日常生活の援助の視点を学び、日常生活の援助方法について学ぶ。						
中 核	生活援助技術（食・排泄）						
授業目標	<p>基礎看護技術Ⅲ①</p> <p>1. 食事と栄養管理に関する看護の意義が理解できる。 2. 食事と栄養、排泄をアセスメントする視点が理解できる。 3. 安全・安楽に配慮した実施ができる。</p> <p>基礎看護技術Ⅲ②</p> <p>4. 排泄と排泄管理に関する看護の意義が理解できる。 5. 対象の状態に合わせた排泄援助が実施できる。 6. 排泄をアセスメントする視点が理解できる。</p>						
授業の内容と方法	回	授業内容		授業方法	時間数	担当	備考
	1	基礎看護学技術Ⅲ① 1. 食事と栄養 (1) 食べることの意味 (2) 食べる仕組み (3) 食事と栄養をアセスメントする視点		講義	14	岡原 幸代	
	2	非経口的栄養摂取		講義			
	3	食事摂取への援助		講義			
	4	口腔ケアとその効果		講義 演習			実習室
	5	《演習》 ・ 1. 食事介助（嚥下障害なし） 2. 口腔ケア		演習 (必修)			実習室
	6						
	7	食事援助・口腔ケアの意義 (なぜ看護職が食への援助を行うのか)		講義			
実務歴有	看護師・保健師：地域包括支援等勤務 6年 看護教員：学校勤務 6年						
講義への反映	臨床場面から実際の看護技術の目的・意義を実感できる講義を展開する						
授業の内容と方法	1	2. 排泄 1) 排泄の意味 2) 排泄の仕組み 3) 安全・安楽な浣腸技術の知識について		講義	2	上原 由加里	
	2	《演習》 グリセリン浣腸と便器挿入		演習 (必修)	4		実習室
	4	4) 自然排尿・排便の援助		講義	2		
	5	5) 陰部洗浄とオムツ交換		講義	2		
	7	《演習》 陰部洗浄とオムツ交換		演習 (必修)	4		実習室
	8	6) 排泄援助の意義 (なぜ看護師が排泄の援助を行うのか)		講義	2		
実務歴有	看護師：病院勤務 11年 看護教員：学校勤務 5年						
講義への反映	臨床場面から実際の看護技術の目的・意義を実感できる講義を展開する						
終了後課題	リフレクションノート						
評価計画方法	基礎看護技術Ⅲ①： 筆記試験 50% *出席状況（原則全日）・提出物（毎指示に於いて）が不足している場合は最終評価の減点対象とする。						
テキスト参考図書	茂野香おる著：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅱ第18版【電子版】，医学書院 看護がみえるvol.1 基礎看護技術第1版 第1版，メディックメディア						
備 考	基礎看護技術Ⅲ① 1. 該当する「解剖生理」を理解しているという前提で講義を実施する。これまでの学習が不十分である場合は、当該講義までに学習をすること。						